

チェックリストで分かる伸ばす側面とその手立て 問題を見いだす場面(第3学年)

番号	伸ばす側面	チェック事項	手立て(単元計画に記載する内容)
Q1	思考の基盤	ものごとのちがうところや同じところに気づくことができますか。	事象提示の際に比較を行うことで、差異点と共通点に気付かせ、児童に疑問を持たせる。
Q2		ものごとのちがうところや同じところからぎ問を持つことができますか。	
Q3	探究的思考	「どうしてかな」と思うことがありますか。	児童が既に持っている知識や考えを想定し、そこにずれを生じさせるような事象提示を行う。 友達の考えが科学的な考えか否かについて検討させ、非科学的と感じる点について質問を行わせる。
Q4		「調べてみたいな」と思うことがありますか。	
Q5	合理的思考	自分の考えについて、みんながなっとくできる理由を考えることができますか。	児童から出てきた気付きや疑問を、教師が価値付け・整理・焦点化し、そこから理由を考えさせる。
Q6	反省的思考	調べたい問題について、おかしいところはないか見直していますか。	「みちがえる質問集」を活用し、自分や友達の考えを見直す経験を積ませる。
Q7		友だちとの話合いを通して、調べたい問題を見直していますか。	
Q8	懐疑的思考	友だちの考えにまちがいが無いと思いますか。	話合いを通して友達の考えを見直す経験を積ませる。